

(公社)日本造園学会研究論文集

ランドスケープ研究（オンライン論文集） 論文査読参考資料

日本造園学会論文集委員会
2017 年 10 月 10 日部分修正

1. 論文審査システムと査読判定方法

（１）査読者への依頼

研究発表論文の審査は、論文集委員会の責任において作業を行い、校閲委員会の承認をもって確定します。両委員会は、日本造園学会会員内外から、造園学研究に知識と経験のある2名の方に1論文の査読を依頼します。査読して頂いた方は、平成26年度研究発表論文集校閲委員として、当該論文集の巻頭に一覧としてお名前と所属先を掲載させていただきます。

（２）査読に際しての留意点

ランドスケープ研究（オンライン論文集）では、全国大会論文集（5号論文）と異なり、目安として3回まで査読を行うことが可能です（必要に応じてさらなる継続も可）。また、論文頁数も、「論文」の場合12頁まで（「短報」「資料」は4頁まで）認められおり、校閲・修正段階での変更も可能となっております。学術論文としての質をより一層高めるための継続的かつ指導的な査読にご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

（３）査読結果と編集プロセス

論文の総合判定結果は、

A : 採用

B1 : 修正が軽微であり、修正結果の確認は論文集委員会に一任するもの

B2 : 大きな修正を含んでおり、再査読を要するもの

C : 不採用

の4段階のいずれかで報告してください（後述）。

査読結果にもとづいて以下のようなプロセスで編集を進めます。

① 2名の査読結果がA、Aの場合:採択となります。

② 2名の査読結果がA、BまたはB、Bの場合: Bの査読者の修正意見を執筆者に送付いたします。B、Bの場合、論文集委員会で2名の査読結果を集約して執筆者に送付します。B判定は修正結果により採用または不採用を決定します。B1〔微細な修正〕の場合には論文執筆者による修正結果を論文集委員会が判断し、B2〔大きな修正〕の場合、B2判定の査読者には、論文執筆者による修正結果を修正依頼文とともに送付し、**再査読**をお願い致します。

※なお再査読においては、1回目の査読時に指摘した事項以外には「修正要求」を行えません。

予めご了承の上、査読を行って下さい。

③ 1名の査読結果がC、もう1名がBないしはAの場合: 論文集委員会で査読者の指摘を検討した上で、第3査読者を選定し、査読を依頼します。

第3査読者の判定がCの場合: 校閲委員会で採否を最終決定いたします。

第3査読者の判定がBの場合: 論文集委員会が2名の査読結果を集約し、執筆者に修正依頼文を送付します。

④ 2名の査読結果がともにC（不採用）の場合: 校閲委員会で採否の最終決定をいたします。

2. 項目別判定の記入について

論文の査読は、以下の7つの項目のそれぞれについて「a」、「b」、「c」の評価とコメントをお願いいたします。

- a : 適切であり、修正の必要はない
- b : 問題があり、修正が必要である
- c : 重大な欠陥があり、大幅な修正を必要とする

■判定する項目

1. 研究目的の明確性、研究の意義・位置づけの明確性

－研究目的が明確に示されているか：実態や既往研究を踏まえた目的設定になっているか

2. 研究対象、研究方法の適切性

－研究目的に対応した研究対象・研究方法の設定ができているか

3. データの信頼性

－論拠となるデータに信頼性・再現性があるか

4. 分析と考察における論証の適切性

－分析、考察等が客観的、論理的に行なわれているか

5. 結論の有用性と発展性

－研究結果に独自性があるか。結論が明確でかつ有用性、発展性があるか

6. 学術論文としての表現、形式の適切性

－論文表題が内容を的確に表現しているか。図表等が理解しやすく、鮮明かつ適切な大きさであるか。引用、参考文献等が適切に記述され、文献追認が可能であるか。論述構成のバランス、本文・図表・文献等論文構成のバランスがとれているか

7. Abstract の適切性

－Abstract の内容、表現は適切か

注1)：既発表論文に、方法・対象等を若干変更した論文や新しいデータを付加した論文の場合は、その結論が大きく発展していなければ適当ではありません。既発表論文の内容に依拠し、その引用・要約などにすぎない部分が相当部分を占める論文は適当ではありません。

注2)：既発表の内容を含む論文であっても、個々の既発表の内容を統合することによって新たな学術的価値を生み出している論文については新たな論文とみなせる場合があります。

注3)：論文全体に多少の欠陥はあっても、新たな着眼点がみられる論文については、それを評価する観点もご考慮ください。

3. 「総合判定」と「全般的指摘」の記述にあたって

上記の項目別判定の結果をもとに、投稿論文の採否について総合的にご判断願います。

「総合判定結果」は、

A : 採用

B1 : 修正が軽微であり、修正結果の確認は論文集委員会に一任するもの

B2 : 大きな修正を含んでおり、再査読を要するもの

C : 不採用

のいずれか該当するものをご記入ください。

■「全般的指摘」の欄に総括的な判定理由や修正指摘事項をご記入ください。

■「修正指摘」については、「修正要求」「修正希望」のどちらかが明確になるよう記してください。

「修正要求」は、執筆者が指示に従い修正しない、または修正しない合理的な説明をしない場合、不採用となる事項です。

「修正希望」は、執筆者が修正しなくても不採用の理由とはなりませんが、修正により論文の質的向上が期待される事項です。

A：採用の判定は、修正指摘がまったくないか、「修正を希望する事項」の指摘が若干行われた場合に限られます。

B：修正結果により、採用または不採用（B1：微細な修正、B2：大きな修正）と判断した場合、その修正指摘は、論文として採用するために必要な修正の要求あるいは示唆を与えるためのものです。

※なおB2判定の場合、再査読時には1回目の査読時に指摘した事項以外には「修正要求」を行えません。予めご了承の上、査読を行って下さい。

C：不採用と判定した場合は、その理由を当該論文に即して、具体的な例証を示して記述してください。一般的あるいは抽象的な記述のみで不採用理由を示さないようにしてください。

4. 「個別の指摘事項」の記入にあたって

〔総合判定〕のB1、B2、C、〔項目別判定〕のb、c判定に至る指摘事項を具体的に記入してください。

校閲用論文での頁、行、図表番号等を明示して「修正すべき箇所を指摘」し、「修正する内容や方向」を「修正要求」と「修正希望」に区別してわかりやすく記入してください。

5. 査読報告書の提出について

オンライン投稿・査読システム (<http://mc.manuscriptcentral.com/jila>) よりログイン戴き、担当編集委員より送付させて頂く「査読報告書」をご使用ください。あわせて送付させて頂く「ランドスケープ研究（オンライン論文集）査読参考資料」「オンライン査読マニュアル」もご参照ください。また、「ワード」または「エクセル」で作成してください。

■査読報告書は、PDF化せず（自動でPDF化されます）オンライン投稿・査読システムにアップロードして下さい。また査読報告書に明記されている項目が明記されていれば、書式は問いません。

何卒宜しく御願ひ申し上げます。

■査読内容などに関するご質問は、下記まで御願ひ申し上げます。

論文集委員会 委員長	加我 宏之	E-mail	kaga@envi.osakafu-u.ac.jp
幹事（オンライン論文集担当）	水内 佑輔		mizuuchi@uf.a.u-tokyo.ac.jp